

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

北陸でつくる良い家

グループの名称

北陸で良い家づくり隊

直近採択グループ番号

06-0406-0353

(グループ代表者)

代表者名

太田 貴司

代表者印

代表者所属先

太田木材株式会社

代表者所在地

福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島14-36-7

代表者電話番号

0776-61-6600

(グループ事務局)

事務局事業者名

太田木材株式会社

事務局担当者名

荒井 泰行

印

事務局郵便番号

910-1142

事務局所在地

福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島14-36-7

事務局電話番号

0776-61-6600

事務局FAX

0776-61-6606

事務局担当者E-mail

arai.woodpartner@gmail.com



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		12	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	0棟	/				
				0㎡					
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0棟		0㎡			
各工務店に対し最低1棟以上の配分を目標とする。その上で未経験工務店や受注が確認されている工務店へ優先して配分していく。									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北陸でつくる良い家	(地域型住宅供給対象地域) 福井県、石川県、富山県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 北陸で良い家づくり隊	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0406-0353	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○北陸地域の大部分が多雪区域の指定がある。積雪に耐える構造とするために梁・桁は許容応力度計算などを行い適切な軸組設計を行う。 ○対象地域には断熱地域区分4～6の地域が含まれている。断熱性能を確保するため外皮平均熱貫流率は4地域の基準である0.75W/(mK)以下とする。 ○湿気による構造劣化を防ぐために外壁を通気構造として劣化対策等級3相当を確保する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○主要構造材だけでなく端柄材、合板もプレカット加工を行い、上棟から雨養生までの時間短縮と全体の工期短縮を図る。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○日照・通風を確保するために、居室毎に床面積の10分の1以上の開口面積を設ける。 ○日射遮蔽型のLow-Eガラスを積極的に採用して日射遮蔽対策を行う。	◎
④①～③の背景	北陸地域は年間降水日数が180日以上あり湿度が高く、年間降雪日数が50日以上、日照時間は全国平均以下という特徴がある。少ない日照時間でも採光を確保しつつ省エネ性能を高め地域の低炭素化を図る。高い持ち家率をほこる北陸地域で、住生活の向上を通じて地域経済の発展に貢献することを目標とする。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○パネル工法を積極的に採用し、断熱性能の均一化や工期の短縮につなげる。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○柱や梁等の構造材はプレカット加工が出来る範囲の寸法に統一する。ただし意匠や構造上やむを得ない場合を除く。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○省エネ基準に対応する断熱材やサッシをまとめた推奨建材リストを使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○面材耐力壁と断熱材を一体化したパネル工法を利用して性能の均一化を図る。	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○流通事業者の少数選定を行い、調達コストの削減を行う。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○事務書類等の共通書式を使用して作業の効率化を図る。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ○工期短縮・コスト削減に向けて、工場生産が可能な工法の検討を行う。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○各種工法の検討会議を行う。流通、プレカット、設計、施工事業者からの情報を取りまとめグループに発信する。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○フラット35対応木造住宅工事仕様書に基づく施工方法に努める。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○施工チェックシートを用いて検査を行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○見積り項目を具体的に記入し、一式表示を避ける。 ○見積り説明時には専門用語を控え、分かりやすい説明を心掛ける。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○施主及び一般者向けのプレカット工場見学を開催する。住宅の骨組みとなる材料の加工現場を公開することで、消費者の安心と信頼の向上を目指す。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○時間外労働を行わずに済むように、発注者から下請業者までが協力して適正な工期の設定を行う	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○資格や経験を見える化して客観的に評価できるようにする。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○様々なリスクに備え加入を義務付ける。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ○毎朝の朝礼で注意事項の確認を行う。 ○健康診断を義務付ける。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北陸でつくる良い家	(地域型住宅供給対象地域) 福井県、石川県、富山県	
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 北陸で良い家づくり隊	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0406-0353		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○第三者機関へ住宅履歴情報を蓄積する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○第三者機関を活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○定期的に事務局からアナウンスを行い確認する。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ共通の点検・補修シートを活用し、点検を行う。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ共通の点検・補修シートを活用し、補修を行う。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ共通のメンテナンススケジュールを作成し、活用する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○施主向け、施工業者向けの勉強会の開催を目標とする。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○プレカット工場で余った端材を使用し、DIY体験会を実施する。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○事務局が中心となって維持管理の状況把握に努める。	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○施工業者が事業継続困難となった場合、定期点検をグループ内の構成員で引き継ぐ。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○瑕疵が発生した場合、内容をグループ内で共有する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○施工業者に対して住宅瑕疵担保保険の加入を義務付ける。	◎
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○事務局や外部からの講師による勉強会・講習会を行いグループのスキルアップを目指す。○構造見学会を実施して、実際の施工方法をグループで共有する。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ共通の品質管理確認シートを作成し活用する。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○事務局に品質管理確認シートを提出し確認を受ける。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○3ヶ月に一度、施工業者に対してアンケートを行い住宅の需給状況を把握する。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○外皮計算や一次エネルギー消費量計算を施工業者が自社で計算できる事を目標とする。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○事務局と設計事業者が中心となって施工業者のサポートを行う。	◎	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 7	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 7		○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○未参加者を把握してメールなどで日程等の周知を行う。		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○大スパンを木造で可能なトラス工法を普及させる。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○面材耐力壁の告示改正に伴い、今までのパネル工法から新たな仕様を開発していく。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○未経験工務店に対して計画の段階から計算や申請のサポート体制を強化していく。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北陸でつくる良い家	(地域型住宅供給対象地域) 福井県、石川県、富山県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北陸で良い家づくり隊	(結成年) 2015年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0406-0353														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	地域材利用に関する														
①	共通 ルール(必須)	○主要構造材(柱・梁・桁・土台)の80%以上に福井県産材または合法木材を使用する。 ○間柱の100%に福井県産材または合法木材を使用する。	◎												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input checked="" type="checkbox"/> 80%以上	◎												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p>合法木材の一部においては産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者の特定が困難な場合がある。このため、製材・集成材・合板グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。海外で原木から製材された材料を建材流通事業者が流通する場合、地域材供給ルートに製材・集成材・合板製材業者を含まないことがある。</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○プレカット事業者が中心となって在庫把握を行う。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○流通事業者からの情報を基に事務局から発信する。	◎												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○一棟当たり約10㎡の地域材を供給する予定である。	○												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○主な居室の一部に畳コーナーの提案を行う。	○												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○越前瓦、小松瓦等を積極的に提案する。	○												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○内装に越前和紙、輪島塗、越中和紙等の伝統的な素材を積極的に提案する。	○												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○外壁に木板を張る等、伝統的な意匠を積極的に提案する。	○												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○福井県伝統的民家認定制度のような制度を積極的に活用する。	○												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○共働き率の高い地域であるため、それぞれの暮らしに合った提案を行う。	◎												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○地域の景観条例等に従い、著しく景観を損ねない外観とする。	◎												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○四季を感じられるように、縁側や土縁スペースの提案を行う。	○												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。														
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
	東日本大震災の復興に資する取組	○被災地の特産品等をまとめたチラシを作り、施主や一般者へ向け呼びかける。	○												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	○当グループの原木供給や製材事業者の中には熊本県の事業者が含まれている。これらの事業者から積極的に材料供給を行い、復興に貢献する。	○												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 北陸でつくる良い家	(地域型住宅供給対象地域) 福井県、石川県、富山県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 北陸で良い家づくり隊	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0406-0353	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅： ○対象地域には断熱地域区分4～6の地域が含まれている。断熱性能を確保するため外皮平均熱貫流率は4地域の基準である0.75W/(㎡K)以下とする。  ゼロ・エネルギー住宅 ○外皮平均熱貫流率は0.58W/(㎡K)以下を目標とする。ランクアップの場合、4・5地域は0.38W/(㎡K)以下、6地域は0.48W/(㎡K)以下を目標とする。 ○太陽光発電を除くエネルギー削減率25%以上を目標とする。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。